

愛知東邦大学 シラバス

| | | | |
|--------------------|--------------|-----------------------------|----|
| 開講年度(Year) | 2024年度 | 開講期(Semester) | 前期 |
| 授業科目名(Course name) | アントレプレナーシップ論 | | |
| 担当者(Instructors) | 寺島 雅隆 | 配当年次(Dividend year) | 2 |
| 単位数(Credits) | 2 | 必修・選択(Required / selection) | 選択 |

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業では、アントレプレナーシップの概念を把握し、起業家精神を発揮し、起業活動を考えます。まず、働くには雇われるか、起業するかの選択肢があります。大学を卒業して、定年の65歳まで働くとして、40年以上の年月で、起業を考える機会がないとも限りません。そのためにも、起業家的考えや行動がサラリーマンとどう異なるのかを学び、実際に起業をシミュレーションします。具体的には、どのような市場にどのような商品・サービスを投入するかを考え、マーケティングを進めるとともに、そのビジネスモデルをブラッシュアップし、イニシャルコストを明確にし、資金調達や広告宣伝方法も含め、資金回収する具体的見込みをビジネスプランとして落とし込みます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

| | |
|---------------------|--|
| 授業形態(Class form) | 講義 |
| 授業の方法(Class method) | 独自のビジネスモデルを構築し、ビジネスプランをつくり、プレゼンテーションします。ゲストスピーカーの招聘の機会があります。 |

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

| 回数(Num) | テーマ(Theme) | 内容(Contents) | メディア区分(Media) |
|---------|---------------------|--|--------------------------|
| 第1回 | 概要説明・アントレプレナーシップの概念 | アントレプレナーシップを理解します。また、授業の流れを説明します。 | <input type="checkbox"/> |
| 第2回 | 起業家の考えと行動仕様 | 起業家に共通する考えや行動仕様が何であるかを学びます。生き方や価値観に言及します。 | <input type="checkbox"/> |
| 第3回 | 起業の歴史と時代変化 | 起業には時代変化があり、その歴史を学びます。 | <input type="checkbox"/> |
| 第4回 | ニーズとウォンツを見出す | 需要がなければビジネスは成立しません。授業について学びます。 | <input type="checkbox"/> |
| 第5回 | 差別化のための戦略 | 差別化しなければ低価格で勝負することになります。その戦略を理解します。 | <input type="checkbox"/> |
| 第6回 | アジャイル開発とスクラム | 目的を達成し、成果を最大化する方法の一つを学びます。 | <input type="checkbox"/> |
| 第7回 | 起業方法と組織形態 | 実際に起業する方法を認識し、組織形態を理解します。 | <input type="checkbox"/> |
| 第8回 | コストと資金調達 | 初期投資および運転資金について理解します。融資と投資の違いを知り、資金調達の手法を学びます。 | <input type="checkbox"/> |
| 第9回 | マネタイズと収益モデル | 収益化のためのモデルについて学びます。 | <input type="checkbox"/> |
| 第10回 | ビジネスモデル考案① | ビジネスモデルの事例からヒントを得ます。 | <input type="checkbox"/> |
| 第11回 | ビジネスモデル考案② | 実際のビジネスモデルを考えます。 | <input type="checkbox"/> |
| 第12回 | マーケティングとブラッシュアップ | ビジネスモデルをブラッシュアップし、マーケティング戦略を練ります。 | <input type="checkbox"/> |
| 第13回 | ビジネスプランの作成、小テスト | ビジネスプランを書面に落とし込みます。また、小テストをおこないます。 | <input type="checkbox"/> |
| 第14回 | プレゼンテーション① | ビジネスモデルをプレゼンします(前半)。 | <input type="checkbox"/> |
| 第15回 | プレゼンテーション② | ビジネスモデルをプレゼンします(後半)。 | <input type="checkbox"/> |

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前に、テーマに沿った一般的な状況を説明できるようにしておく(2時間程度)。事後には、授業を振り返り、理論を整理しておく(2時間程度)。後半は、事業計画書を作成する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業におけるレポート課題及び発言について成績をつけます。次回授業までにLMSに反映させます。

| ■授業の到達目標と評価基準 (Course goals) | | |
|------------------------------|--------------------|---|
| 区分 (Division) | DP区分 (DP division) | 内容 (DP contents) |
| 思考力・判断力・表現力 | ◆ 2021地域ビジネスDP2 | 社会構造と社会変化に興味を持ち、イノベーション的行動で変化をもたらすことができる。そのために、仲間を関係を築き、具体的な計画を考え、発表することができる。 |

| ■成績評価 (Evaluation method) | | | | |
|--|-----------------------|----------------------|-----------------------|-------------|
| 筆記試験 (Written exam) | 実技試験 (Practical exam) | レポート試験 (Report exam) | 授業内試験 (in-class exam) | その他 (Other) |
| | | | 30% | 70% |
| 授業内試験等 (具体的内容) (Specific contents) 各回のレポートが30%、ビジネスプランの提出とプレゼンテーションが40%。小テストが30%です。具体的には、各回レポートは2点満点 (400字程度) 計30点、ビジネスプラン+プレゼンテーションは40点満点、小テストは10問 (記述式) ×3点=30点満点です。 | | | | |

| ■テキスト (Textbooks) | | |
|-------------------|---------------------|-------------|
| No. (No.) | テキスト名など (Text name) | ISBN (ISBN) |
| 1 | なし | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

| ■参考図書 (references books) | | |
|--------------------------|---------------------------|-------------|
| No. (No.) | テキスト名など (Text name) | ISBN (ISBN) |
| 1 | 寺島雅隆著『起業家育成論』唯学書房 | |
| 2 | 寺島雅隆著『障害者の経営学—雇用から起業へ』三恵社 | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |